

平成二十二年度予算における行政の刷新について

平成二十一年十二月一日（火）閣僚懇談会  
内閣総理大臣 発言要旨

一 昨日、行政刷新会議において、「行政刷新の観点から今後に臨む基本姿勢」を決定した。従来、政府内部の作業だった予算編成プロセスを公開し、国民の目に明らかにしたことは画期的であり、様々な成果と教訓を得ることができた。

二 私も、先日、事業仕分けの現場を見させていただいたが、各事業について、幅広い観点から真剣な議論が行われていることに感銘を受けた。税金の遣われ方に関する国民の皆さんの関心の高さも、よく判った。

三 この結果を具体的な成果に結び付けていくのは、内閣の責任。平成二十二年度予算編成に当たって、事業仕分けの評価結果を踏まえ大胆な歳出見直しを行う。その一方、殊に政治的判断を要する事業については、予算編成の過程において、必要な結論を得るものとする。

四 関係閣僚におかれても、これまでの成果と教訓を踏まえつつ、真に国民の納得が得られるような形で、より良い予算を作り上げていくことに、ご尽力いただきたい。

平成二十二年度予算における行政の刷新について

平成二十一年十二月一日（火） 閣僚懇

内閣府特命担当大臣（行政刷新） 発言要旨

一 行政刷新会議ワーキンググループによる事業仕分けについては、先月二十七日に順調に作業を終えることができた。各大臣のこれまでのご協力に改めて感謝したい。

二 事業仕分けについては、国民の関心が非常に高く、また、非常に多くの国民の支持を得た。予算編成に対する国民の関心を喚起するとともに、過去のしがらみにとらわれることなく、国民の目の前で予算の議論を進めたことが国民の共感を呼び、大きな成果を挙げたものと思っている。

三 昨日開催した行政刷新会議では、「行政刷新の観点から今後に臨む基本姿勢」（別紙）を決定するとともに、

- ①平成二十二年度予算編成に当たっては、各大臣の下においても、ワーキンググループによる事業仕分けの評価結果を踏まえ、大胆な歳出の見直しを行う、
- ②また、それらのうち殊に政治的判断を要する事業に関しては、予算編成の過

程において、内閣の責任においてその必要な結論を得るものとする、

③なお、制度の見直しを伴う事業に関しては、中長期的な視点から、その改革に向けて順次検討を進めていく、

④総じて、予算編成が国民に開かれたものになったことを受け、予算に盛り込まれる事業については、国民の納得が得られるよう、その十分な説明責任を果たしていくことが不可欠である、

ことを確認した。

四 各大臣及び財務大臣におかれては、平成二十二年度予算が筋肉質の歳出構造になるよう、行政刷新会議の決定・確認事項に沿って、徹底した見直しを行っていただきたい。

平成二十二年度予算における行政の刷新について

平成二十一年十二月一日（火）閣僚懇談会  
財務大臣発言要旨

一 平成二十二年度予算については、将来世代のことも考え、財政規律を守っていくことが、内閣としての重大な責務であることから、すべての予算や事業を抜本的に見直し、新たな財源を生み出すことが必要である。

二 先ほど仙谷大臣から御発言のあったとおり、平成二十二年度予算編成に当たっては、ワーキンググループによる事業仕分けの評価結果を踏まえて歳出の見直しに取り組む必要があると考えており、各大臣におかれては、引き続き最大の御協力をお願いしたい。